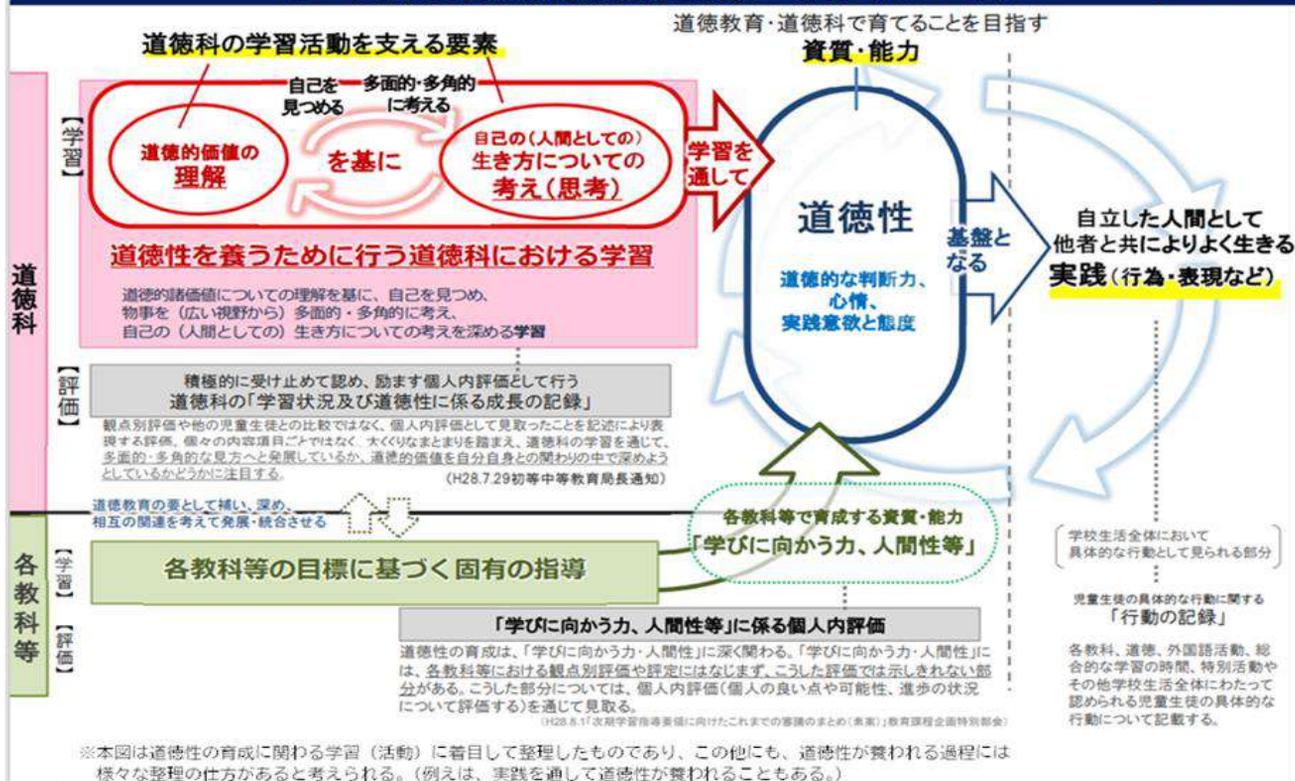


特別の教科 道徳

小・中学校における道徳教育と資質・能力（イメージ）

別添16-2



出典：幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）（中教審第197号）

道徳科の授業におけるICTの効果的な活用

一般的な道徳科の学習指導過程におけるICT活用例

段階	学習の目的	主な学習活動	ICTの活用例
導入	・実態や問題を知る。	・道徳的価値について、問題意識をもつ。	・実態や問題の提示 (画像や映像、グラフ等)
展開	・教材を活用して、道徳的価値を理解し、よりよい生き方を考える。	・自分自身との関わりで考える。 ・多面的・多角的に考える。 ・自己の(人間としての)生き方についての考えを深める。	・教材の提示 (画像や映像等) ・自分の考えをもつ (ICT端末に示す) ・他者の考えを知る (ICT端末に共有する) (表やグラフ等) ・話し合う(直接的な対話) ・自己を見つめる (ICT端末に蓄積する)
終末	・よりよい生き方の実現への思いや願いを深める。	・道徳的価値についての自己実現への意欲を高める。	・生活の様子の提示 (画像や映像等) ・外部の方の言葉の提示 (画像や映像等)

出典：GIGAスクール構想のもとでの特別の教科道徳の指導について（文部科学省）

学年・主題名：中学校2年・「命とはどのようなものか」

教材名・内容項目：「つながる命」・D(19) 生命の尊さ

見方・考え方：自分との関わりで考えたり様々な見方で捉えて考えたりすること

ICTの活用：自己の内面を言語化し、多様な感じ方や考え方を把握する

学習場面：問題意識をもち、自分との関わりで捉えて考える場面・他者と対話する場面



【問題意識をもち考える場面】

教師は、教材に出てくる「臓器移植」が生徒にとって馴染みが薄く、他人事に捉えてしまうのではないかと感じていたため、事前に「臓器移植」についての学習を行った。教材を読む前に、大型モニタに提示されたスライドで事前に学習した内容を振り返ることで、本時の教材内容の把握につながっただけでなく、教材に含まれる道徳的価値への関心が高まった。



【自分の考えをもち、ICT端末に示し共有する場面】

「臓器を提供する側」と「臓器を提供される側」に分かれ、それぞれの立場で家族の思いを考え入力した。立場によって色を分けたことで、どちらの立場の意見かを瞬時に見分けることができた。生徒たちは、クラウド上で共有された友の意見を読んで多様な考え方に触れ、同じ立場でも様々な考え方があることに気づいていた。



【他者と対話する場面】

グループで、臓器提供をめぐる2つの立場で話し合う中で、A生は「これ以上大切な家族の身体が傷つけられるのは嫌だ」という友の意見を聞き、改めて端末上に共有された友の意見を読み返した。「まだ生きている命を途絶えさせることになる」という考えに立ち止まり、生命について多面的・多角的に考え、多様な考え方への関心が高まり、友と話し合うことの活性化につながった。



この事例のポイント

- ・事前学習で使用したスライドを大型モニタに提示して全員で振り返ることで、教材内容の把握や問題意識をもつことにつなげている。
- ・生徒は、他者の考えに影響されることなく自分の考えをもち、ICT端末に打ち込んでいく。ICT端末上に色分けされた意見を瞬時に見分け、より多くの友の考え方に触れている。教師も、生徒の立場や考えを短時間で把握している。
- ・クラウドで共有された意見を自分のタイミングで見ることができたことで、多様な考え方を参考にして、多面的・多角的に考えを発展させている。